

# 令和3年度重要生態系等自然環境調査

調査受託者：特定非営利活動法人 西条自然学校

## 目的

多様な生物が生息する自然公園のうち、気候変動の影響が生じやすい地域や、津波想定範囲における動植物の生息状況を調査することで、気候変動影響評価の基礎資料とする。

## 調査内容

- ・ **調査地域** 金砂湖県立自然公園および宇和海沿岸北部
- ・ **調査項目と調査方法**

哺乳類：無人カメラ調査（大中型哺乳類）、フィールドサイン調査

鳥類：スポットセンサス（繁殖期、越冬期）

昆虫類：目視調査および捕獲調査

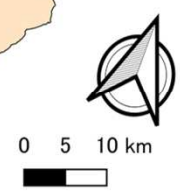
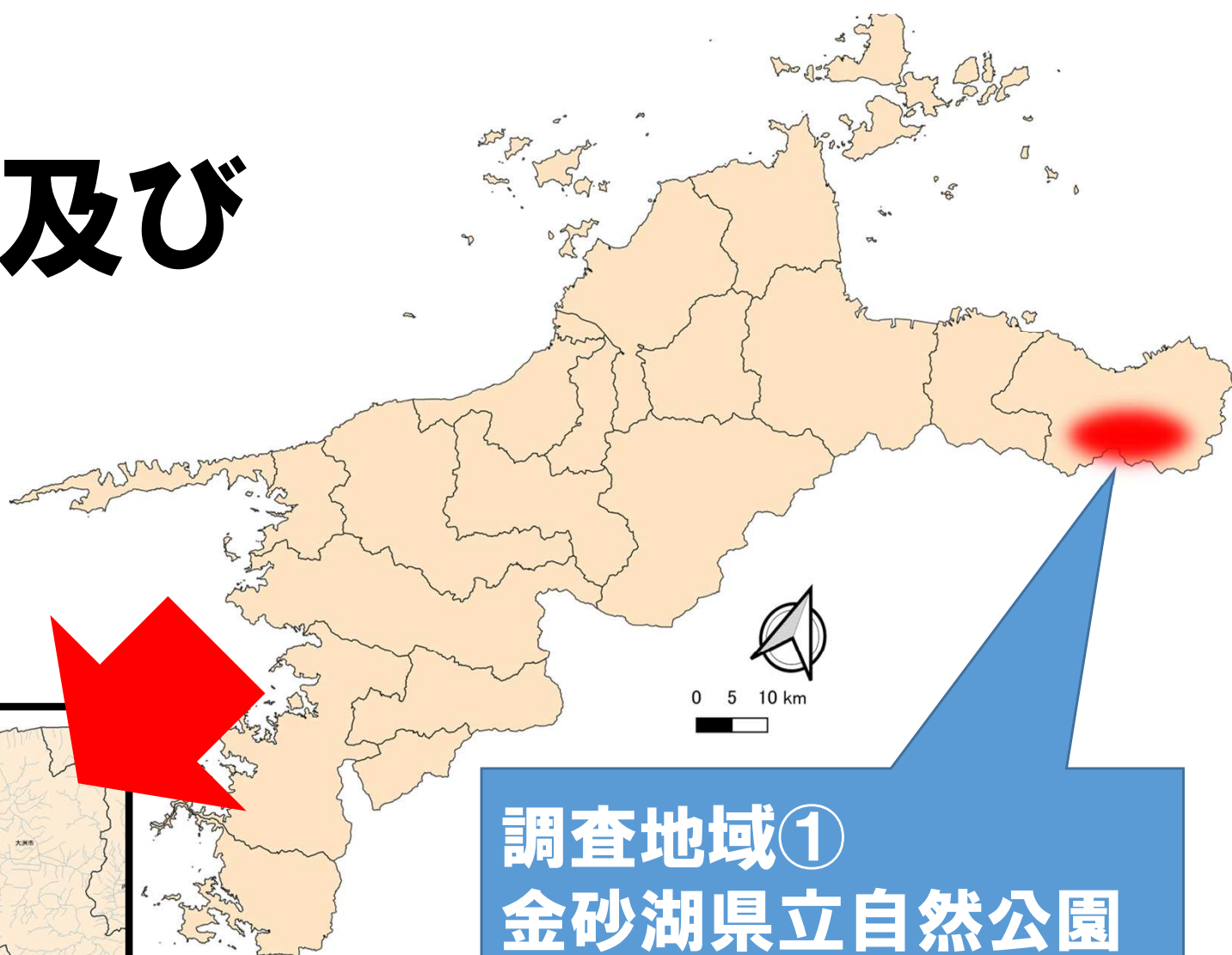
（宇和海沿岸：海浜性昆虫類等、金砂湖：地上徘徊性甲虫）

爬虫両棲類：目視調査

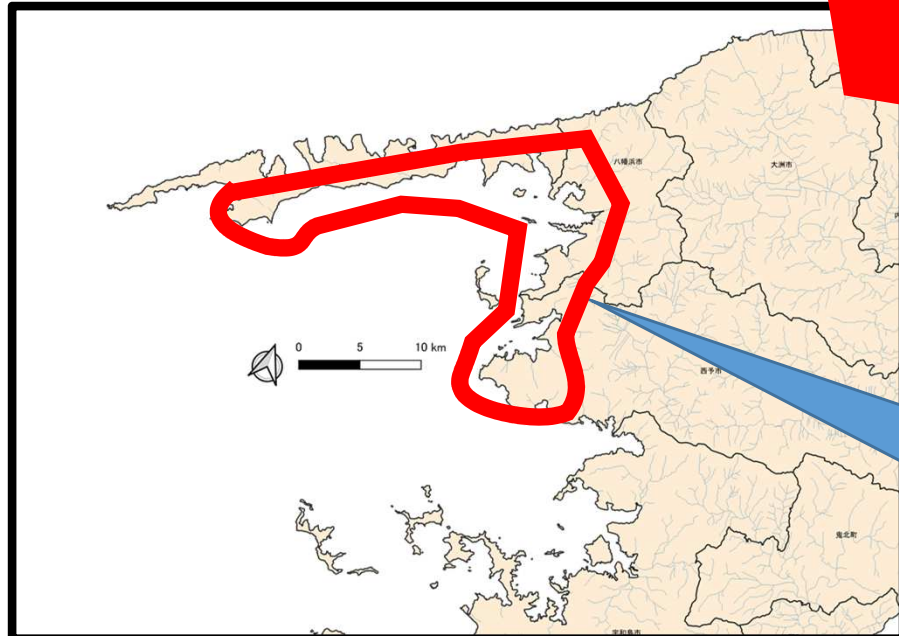
高等植物：目視調査（必要に応じて標本作成）

**調査実施期間** 令和3年5月12日-令和4年3月18日

# 調査地点及び 調査範囲



調査地域①  
金砂湖県立自然公園



調査地域②  
宇和海沿岸北部



# 調査地景観

## 宇和海沿岸北部



## 金砂湖県立自然公園







シャーマントラップ設置状況



無人カメラ設置状況



鳥類調査状況



植生調査状況



# 調査結果概要

**哺乳類**：金砂湖で18種、宇和海沿岸北部で12種を確認。

**特記事項** 佐田岬までシカ分布拡大  
金砂湖でウサギコウモリを確認

**鳥類**：金砂湖で51種、宇和海沿岸北部で42種を確認。

**特記事項** 宇和海沿岸でミサゴを確認。

**昆虫類**：金砂湖で18種の地上徘徊性昆虫を、宇和海沿岸北部で85種の昆虫類（イソカニムシを含む）を確認

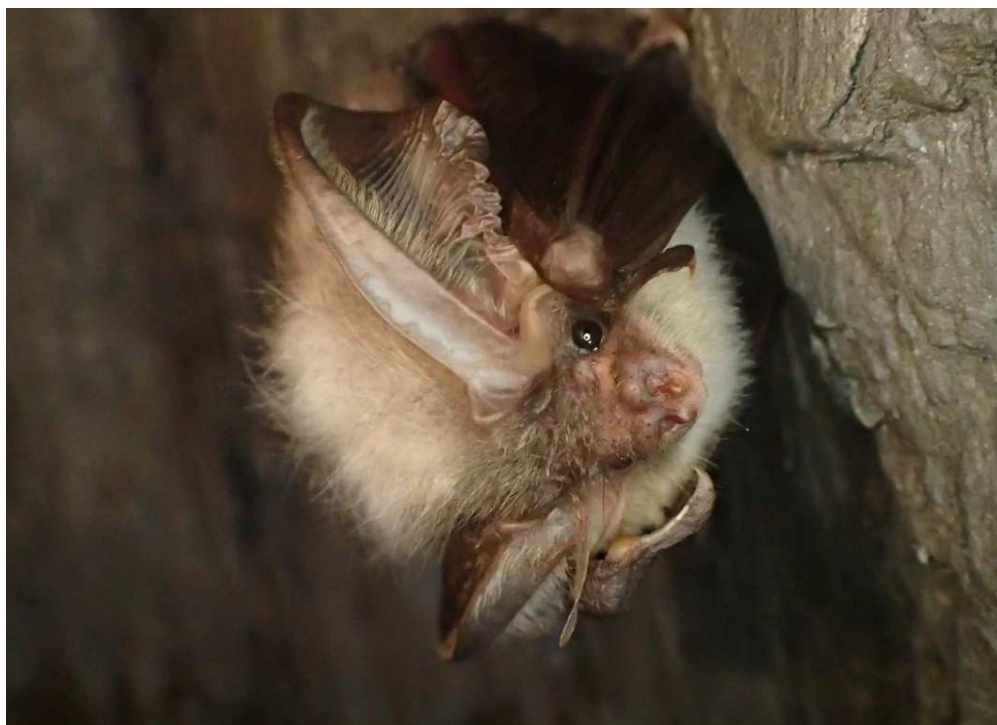
**特記事項** 金砂湖でホウオウオサムシを確認

**爬虫両棲類**：金砂湖でヤマカガシ、カジカガエルなど11種確認  
宇和海沿岸北部でタワヤモリなど12種確認

**高等植物**：金砂湖で702種、宇和海沿岸北部で378種を確認  
（亜種・変種・品種および園芸品種を含む）

**特記事項** 外来植物割合  
金砂湖16.8%、宇和海沿岸23.5%

# 確認された主な特記種



**ニホンウサギコウモリ (県RLⅡ類)**  
***Vespertilio sinensis***

県内の森林内や洞窟、廃屋などで確認されている。県内での生息確認地は限られ、生息適地も少ない為、絶滅が危惧される。



**ホウオウオサムシ**  
***Carabus (Ohomopterus) sue***

2012年新種記載。県固有種。生息確認地は限定的



# 宇和海沿岸北部・金砂湖で確認された高等植物



シラン



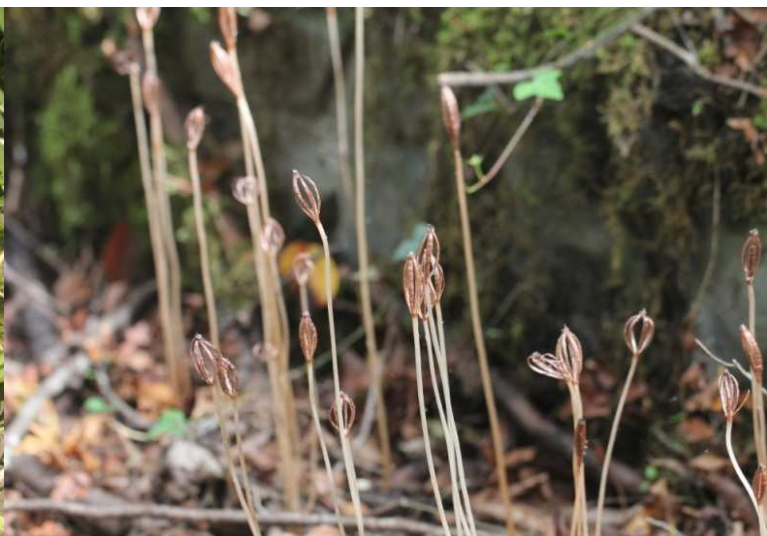
ツチアケビ



ラセンソウ



ホシクサ



クロヤツシロラン



アキネジバナ

# 今後の調査計画

## 県立自然公園自然環境調査

津波や海面上昇等の影響を受けやすい特徴的な海岸線を有する佐田岬半島宇和海県立自然公園(八幡浜市、西予市、伊方町)における動物相および植物相の実態調査

## 重要生態系自然環境基礎調査

宇和海島嶼部の津波や海面上昇等の影響により消失する可能性がある地点を中心とした動物相および植物相の実態調査



**気候変動の影響を受けやすい  
海岸域等の動物相、植物相のリスト化と、  
当該地域における現状の群落組成の解明**